



## 関大は卒業できません。

卒業生のみなさんへ。

ご卒業おめでとうございます。

本日、関西大学を巣立つ6192名の前途の幸運を、心より祈ります。

年初に私たちは学内で、あるアンケートを募りました。今関大は130周年を前に、新たなあるべき姿を模索しています。そのために学生、教職員に広く意見や想いを求めたものです。アンケートによって、いろいろなことがわかりました。予想通りのこともあれば、新しい発見もありました。

興味深かったのは、大学のイメージを問うものに、まるで「人」を語るような答えが多かったこと。

明るい、活発、思いやりがある、人懐っこい。個性的な人が多い、価値観が多様だ、何かを起こそうとする人がいる。

卒業生のみなさんにも首肯してもらえるはず。(もちろんネガティブな見方もありましたが)

そこには、発見がありました。

関大はつまり、「人」ではないか。

積み重ねた伝統も、二つとない研究も、私たちには重要なもの。しかしどんな立派な成果も、「人」がいなければ始まりもしない。

関大がいちばん誇るべき財産は、「人」ではないか。関大が大切にしている言葉に、「考動」というものがあります。

「自ら考えることを愉しみ、それを行動に移すことを厭わず、ためらわず」というような意味で、かくあるべしとする箴言。

そうあることは、望ましくも容易ではありませんが、まさしくこの言葉には関大の「人」への大きく強い想いが顕れています。

学生、教員、職員、OB・OG、関大の「人」一人ひとりがその個性を磨き成長していくことで、

より信頼され愛される関大ができあがる。

もちろん卒業生のみなさんも、その一人です。

本日みなさんは卒業して、新しい世界へ踏み出して行かれますが、関大の「人」を卒業することはありません。

どうぞこれからも関大の「人」らしく、明るく、思いやる気持ちを持ち、人懐っこく、

「考動」を忘れずに、世の中を大いに元気にしてください。

「関大には、人がいる」

その思いを新たに、私たちも新しい関大を目指してスタートを切りたいと思います。

この新しい春に。

世の中のみなさんへ。

卒業生を、そして在学学生をよろしくお祈りします。

変わっていく関大に、ぜひご注目ください。



関西大学

